

## 令和3年度第3回三鷹市域公共交通活性化協議会議事要旨

### 1. 日時

令和4年3月24日（木） 午後3時30分～

### 2. 場所

三鷹市教育センター2階 第二中研修室

### 3. 出席者

【委員】出席21名、欠席5名 【事務局】5名 【傍聴者】0名

### 4. 主な内容

#### (1) 会長挨拶

#### (2) 市長挨拶

#### (3) 議事

##### ①協議事項

ア 三鷹市コミュニティバスの社会実験について

イ 新型コロナウイルスの影響に伴うコミュニティバスの運行について

##### ②報告事項

ア 三鷹駅南口駅前広場の交通対策について

イ 民間シェアサイクルの導入について

ウ その他

### ■協議事項 ア 三鷹市コミュニティバスの社会実験について

#### 【事務局】

・実施期間（予定）：令和4年10月～令和5年9月

※実施期間中、コミュニティバス三鷹台・飛行場ルートは運休

・今後のスケジュール（予定）

令和4年2月～3月：専門部会及び地域公共交通活性化協議会にて、運行ルート

内容・運賃について決定

3月～9月：関係機関等との調整及び各種許認可申請等

令和4年10月：社会実験運行の開始

・運行内容（三鷹台駅周辺地区）（予定）

	運行ルート① 三鷹台駅－杏林大学病院ルート （仮称）	運行ルート② 三鷹台駅－明星学園ルート （仮称）
運行形態	定時定路線	
運行経路	三鷹台駅－三鷹台団地－牟礼コ ミセン－第一小学校－三鷹中等 教育学校－杏林大学病院	三鷹台駅－三鷹台地区公会堂－ 第五小学校－都営井の頭三丁目 アパート－三鷹井の頭郵便局－ 明星学園
運行時間	午前7時30分～午後7時	午前10時～午後4時
運行間隔	30分程度	40分程度
運行日	全日（土・休日ダイヤを設定）	月曜日～土曜日
運行距離	5.8km（往復）	3.2km（往復）
車両	日野自動車 ポンチョ	タジマモーター Nao8j （※グリーンスローモビリティ）
バス停数	10箇所	5箇所程度
運賃	大人210円、小人110円 未就学児は無料 シルバーパス利用可 各種割引あり 【考え方】 現在の三鷹台・飛行場ルートと 同じ運行体系とする。	100円（大人・小人同額） 未就学児は無料 シルバーパス利用不可 各種割引なし 【考え方】 エリア内を運行する短距離の生 活交通であることや、高齢者の 外出機会促進のため、住民が利 用しやすいワンコイン運賃とす る。
その他	—	道路運送法第21条による実証実 験運行

※ 時速20km未満で公道を走ることができる電動を活用した小さな移動車両

・運行内容（大沢地区）（予定）

運行形態	予約型乗合運行（区域運行） ※利用者からの予約に応じ、A I が最適な運行ルートを選定して運行を行う。同じ時間帯に複数の利用者がある場合は、乗合による輸送を行う。
運行エリア	・大沢地区内（一部野崎地区） ・大沢地区外の市内主要公共施設に設置するミーティングスポット →三鷹市役所、元気創造プラザ、杏林大学病院
運行時間	午前8時～午後5時
運行日	月～土曜日
車両	小型ワンボックス車両(車椅子乗車対応) 1台 + α
運行方法	車両借上げ 車両を借り上げ、利用者からの予約に応じて運行する。運行のない時間帯は、指定の場所で待機する。 スポット対応 乗用営業を行っているタクシー車両のうち5台程度を乗合兼用車として登録し、予約に応じてデマンド運行に切り替えて乗合営業を行う。
乗降場所数	調整中
運賃	地区内の利用：100円、地区外への利用：300円（大人・小人同額） 未就学児は無料 シルバーパス利用不可 各種割引なし 【考え方】 大沢地区内の利用は、エリア内を運行する短距離の生活交通であること、高齢者の外出機会促進や買い物支援のため、住民が利用しやすいワンコイン運賃とする。 大沢地区外への利用は、既存の路線バスやコミュニティバスの運賃を基本とし、事業の継続には一定程度の受益者負担が必要となるため、1人あたりの運賃を300円とする。
予約方法	電話による受付 ・予約コールセンターにて、利用者からの電話を受け、配車する。 アプリによる受付 ・予約・運行システムと連動したアプリを導入し、リアルタイムで予約・配車を行う。
その他	道路運送法第21条による実証実験運行

## ■協議事項 イ 新型コロナウイルスの影響に伴うコミュニティバスの運行について

### 【事務局】

現在、新型コロナウイルスの影響により、臨時ダイヤでの運行を行っているが、バス利用者の乗客数などの状況を踏まえ、今後の臨時ダイヤについて、以下のとおり実施する。

- ・北野ルート、明星学園ルート、三鷹台・飛行場ルート、新川・中原ルート

今後も利用者の回復にかなりの時間を要すると想定されるため、令和4年7月末日まで臨時ダイヤでの運行を継続する。

- ・三鷹の森ジブリ美術館ルート

今後も利用者の回復にかなりの時間を要すると想定されるため、令和4年7月末日まで臨時ダイヤでの運行を継続する。また、ジブリ美術館の通常開館に合わせ、通常ダイヤへの再開を検討していく。

- ・三鷹-境循環共同運行ルート（ムーバス7号路線）

令和4年2月1日（火）から通常ダイヤ（土・休日ダイヤ）での運行を行っている。

### 【委員発言】

- ・利用料金が各々違うことや、シルバーパスや割引が使えないルートがあるのはなぜなのか。

### 【事務局回答】

- ・三鷹台周辺のポンチョでのルートは、現行の運行ルートや地域のご意見を反映した形でルート設定していることから、コミュニティバスと同じ料金体系で割引制度も併せて適用している。また、グリーンスローモビリティでのルートは100円、デマンド運行ルートは100円またはエリア外300円で、シルバーパスや割引は不適用であり、大人や子どもなど分けることはせず、一律同料金となっており、武蔵野市との共同ルートと同じような料金体系である。利用者である地元の皆様と作りあげる交通を目指していることもあり、皆さまから一定の適正な受益者負担が必要であり、今回の運賃体系とした。

### 【委員発言】

- ・三鷹台・明星学園ルートの中で井の頭1丁目の地区公会堂や井の頭コミュニティ・

センターを經由してほしいといった市民の意見も多いので、今後検討してほしい。

**【事務局回答】**

- ・井の頭での住民説明会を経て、住宅街を通過してコミュニティ・センターを經由してほしいといったことは、事務局側も認識しているが、道路幅員が非常に狭く、今すぐに運行することは、難しい。今回の社会実験をしっかりと行い、今後、継続して検討していく。

**【委員発言】**

- ・タクシー事業者の意見として、乗車料金は、運転手や精算の観点から現金払いでお願いしたい。
- ・デマンド交通を行うにあたり、住宅街をタクシーが走行することになるが、交通規制で中に入れない事があるので、時間規制を緩和いただけるよう警察にお願いしたい。
- ・グリーンスローモビリティでの運行に使用する車両は、どのように準備するのか。

**【事務局回答】**

- ・狭い住宅街でも走行可能となるように、ドアがあり、車幅が短く、低価格な車両を選定している。また、資料では8人乗りの車両を載せているが、6人乗りの車両もあり、今後、決定していきたい。

**【委員発言】**

- ・新しい乗り物や煩雑な手続きに対する住民の理解を得るために、地域だけでなく、市としても事前の周知やイベント実施等PRが必要である。

**【委員発言】**

- ・労働者の観点からすると今後、運賃を値上げする見通しがあるのであれば、100円でなく210円でシルバーパス利用可能とした方がよいのではないかと感じる。2002年から規制が緩和されており、バス会社も増え、特に観光バスでは、新規に参入する会社は客がいないため、経費を安くして運行を行うなど、労働者の働き方も過密労働になり、薄利多売という状況が生まれた。バス事故があり、規制もかかってきているが、まだまだ劣悪な労働環境というのが残っている。ぜひ、そのような観点か

らもいろいろ考えていただきたいと思う。

**【市長発言】**

- ・100円バスとシルバーパスの問題は、対立するものではなく、シルバーパスの制度そのものが、すでに限界に来ていると感じている。現在、コミュニティバスの新規路線にシルバーパスが使えるということは、あり得ないと思っている。国や都も考えてほしいが、そのような中で新しい形を考えていく必要がある。100円バスで全てを経営するというのは、不可能な話であり、一方、シルバーパスのバス協会の補助金もない中で、三鷹市としてどのような方法を市民の皆さんにご提示できるかということを考えていく必要がある。

**■報告事項 ア 三鷹駅南口駅前広場の交通対策について**

**【事務局】**

令和2年度に行った三鷹駅南口の交通対策について、実施後の状況について、検証を行った。

**■令和2年度の実施内容**

- (1) 西側タクシー乗り場に1番バス乗り場を移設
- (2) 旧1番バス乗り場をバス待機場として再配置し、夜間（0時～6時）のみタクシー乗り場として運用
- (3) 4番バス乗り場をバス待機場として再配置
- (4) 障がい者等送迎スペースのうち1箇所をタクシー降車場として再配置
- (5) 駅前広場東側（サンドラッグ前）にタクシー降車場を新設
- (6) 駅前広場東側にコミュニティバスの降車場を新設

■交通対策実施後の調査

- (1) 実施日時：令和3年12月21日（火）7：00～19：00
- (2) 実施方法：駅前に配置した調査員及びビデオ撮影による調査
- (3) 主な検証結果

No	検証結果内容
1	【駅前広場西側バス降車場の二重停車の改善】 西側バス降車場における二重停車が、約20%（311台/12hから250台/12h）減少した。
2	【線路脇道路（市道781号線）における滞留の改善】 線路脇道路の時間平均滞留長が、約30%（24.9mから17.1m）減少した。
3	【中央通りにおけるバス待機状況の改善】 バス降車に伴うバスが3台以上連なる状況が、52回/12hから44回/12hに減少し、4台以上連なる状況は、7回/12hになり、半減した。
4	【タクシー降車場新設に伴う効果】 駅前広場内でのタクシーの降車が、駅前交番前降車場で28台/12h、東側（サンドラッグ前）降車場で110台/12hの降車が行われた。
5	【障がい者等乗降場の利用】 荷捌きやバスの待機での利用が、約70%から約20%に減少した。

■報告事項 イ 民間シェアサイクルの導入について

【事務局】

・民間事業者がコンビニエンスストアや集客施設等にサイクルポートを設置し事業展開するシェアサイクル事業について、短距離の移動や日常生活の足など、新しい交通手段として有効であること、また電車、路線バス、コミュニティバスなどと併せて多種多様な交通手段の一つとして考えられること、新しい生活様式における市民ニーズの多様化への対応としても有効であることから、導入促進を図っていく。

・事業概要

電動アシストつき自転車を、専用アプリを活用し、乗りたいときに借りて目的近くのサイクルポートに返却できる民間のシェアサイクリングで、事業主体はOpen Street 株式会社。料金は15分70円となっている。

- ・導入に当たっての費用や役割分担

市と事業者との協定により、市立駐輪場の一部など、公有地等をサイクルポート用地として無償で提供し、導入の促進を図っていく。電動アシストつき自転車やコールセンター、アプリ提供等については、事業者で行う。

- ・導入時期

令和4年度中の協定締結に向けて、現在、事業者と調整を進めている。

- ・その他

現在、三鷹市ではサイクルシェア事業を行っているが、サイクルシェアは月額制で定期的な利用であり、今後、導入を促進していく民間のシェアサイクルは、15分単位の課金で一時的な利用として、それぞれ相互に補完することが可能だと考えている。

また、大学のオンライン事業やテレワークなど、新しい生活様式において一時利用の需要が増えていることから、既存のサイクルシェアから民間シェアサイクルへの移行の可能性についても併せて検討していく。

#### 【委員発言】

- ・三鷹駅南口ロータリーの交通対策を受け、バス会社としても昨年9月と本年3月にダイヤ改正を行った。以前と比べればよくなったが、まだまだ改善の余地もあるため、市や関係各社のご協力もいただきながら、引き続き努力していきたい。

#### 【委員発言】

- ・タクシー事業者の意見として専門部会でも意見しているが、三鷹駅前さくら通り沿いのURの広い駐車場を活用し、バスの問題を解決していただきたい。
- ・タクシー事業者は、南口の交通対策において、色々と業界内でも議論があったが、タクシー乗り場を一つお返ししている。ぜひ、URの場所を活用してほしい。

#### 【委員発言】

- ・バス運転手としても前述のタクシー事業者様と同意見である。

#### 【事務局回答】

- ・駅前広場の中だけでは、朝などの混雑時など、キャパが足りていないことは分かっている。駅前の問題については、短期的に対応できるところや中長期的に考えていかなければならないことがあると考えている。三鷹市としてどのようなことをして



いく必要があるのか、引き続き、検討していく。

**【委員発言】**

- ・民間シェアサイクルは、すでに事業は始まっているのか。また、他市ではキックボードも最近始まっているようで、個人的には危険だと感じている。

**【事務局回答】**

- ・現在、三鷹市内の民間シェアサイクルポートは10から20ヶ所あり、今後三鷹市と協定締結となれば、サイクルポートが増設されるいくものと考えている。キックボード等新しい乗り物についても、今後、規制緩和特区を設けての使用など、導入されていく可能性は高い。市としても安全性を確認したうえで利用を推進していく。

**【委員発言】**

- ・シェアサイクルの主要なニーズは何なのか。土地があるからサイクルポートを設置というよりも、ニーズがある場所にサイクルポートを設置していく必要がある。

**【事務局回答】**

- ・今回のシェアサイクルは、三鷹市だけでなく、すでに調布市や世田谷区でも広まっているシステムを利用するものである。市と事業者が協定を締結することによって、民間での営業が進み、需要が高い駅の周辺などにもポートが設置されるようになり、市町村間の移動も可能となる。事業者においてもGPS等のデータを基に利用の状況や傾向等を分析し、より市民の利便性上がるものとなるようポートの設置等を行う予定である。

**【事務局より】**

- ・今回で、委員としての2年間の任期が終了する旨を報告する。